

【いじめ問題に関する本校の取り組み】

1 方針

いじめはどの生徒にも、どの集団にも起こりえるものであり、誰もが被害者にも加害者にもなり得るものであることを認識する必要がある。いじめの原因や背景は、それぞれのケースによって様々であるが、社会環境や家庭環境・学校における指導のあり方等、要因が複雑に絡み合っている。

したがって、いじめ問題の解決のためには、学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割を果たし、一体となった取り組みを行うことが重要である。しかし、一般的にいじめの構造は、いじめる側、いじめられる側とそれをはやし立てる観衆と見て見ぬふりをする傍観者がおり、生徒の心を読みとって、指導・援助を的確に行うことは困難な状況がある。

さらに、最近では携帯電話の普及により、ネット社会が中学生にまで浸透してきている。スマートフォン(SNS・メール・インスタ)など通信機器が背景にあるトラブル(いじめ)は根が深く、複雑化する傾向が多い。

そこで本校では、「いじめ防止対策推進法」、町教育委員会『学校における「いじめ」等への対応マニュアル』に基づき、以下に示す手順に従い、きめ細かな生徒の観察を行い、確かな情報をもとに、いじめ根絶に向けて適切な指導を推進していく。

2 いじめの未然防止及び早期発見のための取り組み

(1)いじめが起こらない、また、いじめを許さない学校の風土づくりの基盤として道徳教育・人権教育を充実させる。

- ・道徳の時間における個性の尊重等、関連する価値の指導
- ・特別活動における望ましい集団づくり
- ・日々の教育活動における自他を尊重する気持ちや態度の育成

(2)教員のいじめ防止や早期発見、早期解決に資するいじめに関する校内研修を行う。

- ・生徒指導全体会や生徒指導委員会でのいじめられやすい生徒の確認と共通理解
- ・国立教育政策研究所の生徒指導リーフ等を活用したいじめ防止や早期発見、対処法などの研究

(3)生徒の居場所づくり・絆づくりに努める。

- ・学級や部活動など学校生活の中で生徒が所属する集団における役割分担や人間関係づくり

(4)携帯電話、スマートフォン、インターネットなどの通信機器の適切な使用方法を身につけさせる。

- ・学級活動、技術などの授業における情報モラルに関する指導
- ・保護者会や二者(三者)面談、学年便り等を活用した保護者への啓蒙

(5)日頃から情報収集に留意し、いじめの早期発見に努める。

- ・教育相談の実施(定期相談、チャンス相談)
- ・こまりとアンケートの実施(定期(月1))
- ・スマートフォン、PCアンケートの実施

(6)いじめ・トラブルの未然防止と早期発見のため組織的な対応を図る。

- ・生徒指導委員会の組織と機能をもとに、いじめ対策委員会を設置し対応する。
- ・互いに情報を共有し、各取り組みの担当者へのアドバイスと連絡調整を行う。
- ・生徒指導主事、教育相談担当、学年主任とスクールカウンセラー、PTA、関係機関との連携を図る。

3 いじめ問題への対応(□にチェック)

□(1)対応チームを組織する。

〔生徒指導委員会、該当学年の主任、担任または該当部活動の顧問〕

- (2)いじめについて正確に事実確認を行い、いじめられる側(被害者)といじめている側(加害者)の特定をする。
〔アンケートの実施、該当生徒や周辺生徒からの聞き取り調査〕
- (3)いじめられている側がいじめの事実を認めたか。(被害者への事実確認)
 - ①いじめにあっていないと否定した場合
再確認と周囲の生徒・保護者への聞き取りによりいじめが確定した時→②
 - ②認めた場合→「学校は絶対にあなたを守る」心のケアと学校での安全確保
- (4)いじめている側がいじめを認めたか。(加害者への事実確認)
 - ①いじめていないと否定した場合
周囲の生徒・保護者への聞き取りによりいじめが確定した時→再確認
 - ②認めた場合→原因の究明と個別指導を行う。(必ず複数体制で指導する)
- (5)保護者への連絡と連携を図る。
 - ①事実を丁寧に説明し、指導の内容を伝える。対応策を相談し、了承を得る。
 - ②いじめられている生徒の保護者へは、より丁寧な連絡・相談を行う。
- (6)いじめの程度によっては、教育委員会や警察との連携を図る。
〔町教委『学校における「いじめ」等への対応マニュアル』〕
 - レベル2 教育委員会への報告
 - レベル4 関係機関との連携開始
 - レベル5 警察に相談
- (7)(被害者と保護者の了承が得られたら)再発防止をねらいとした学級や学年全体への指導を行う。
- (8)経過を観察し、教育相談などの被害生徒・加害生徒への支援を継続する。
- (9)アンケートや聞き取り調査により明確にした事実関係の認識をもとに、再発防止の取り組みを行う。